

## 資料 1

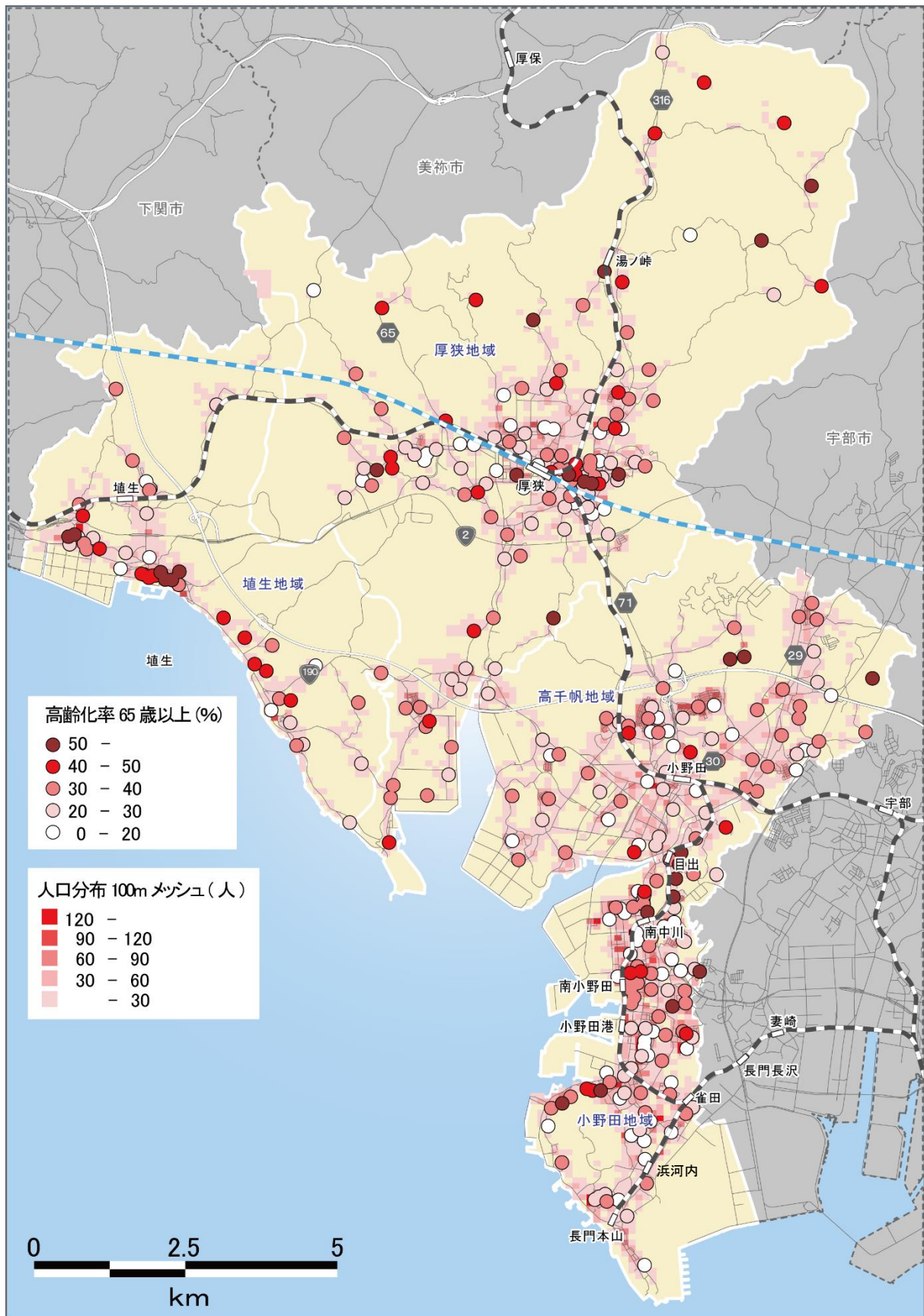
# 市内バス路線の再編について

○現在のバス路線

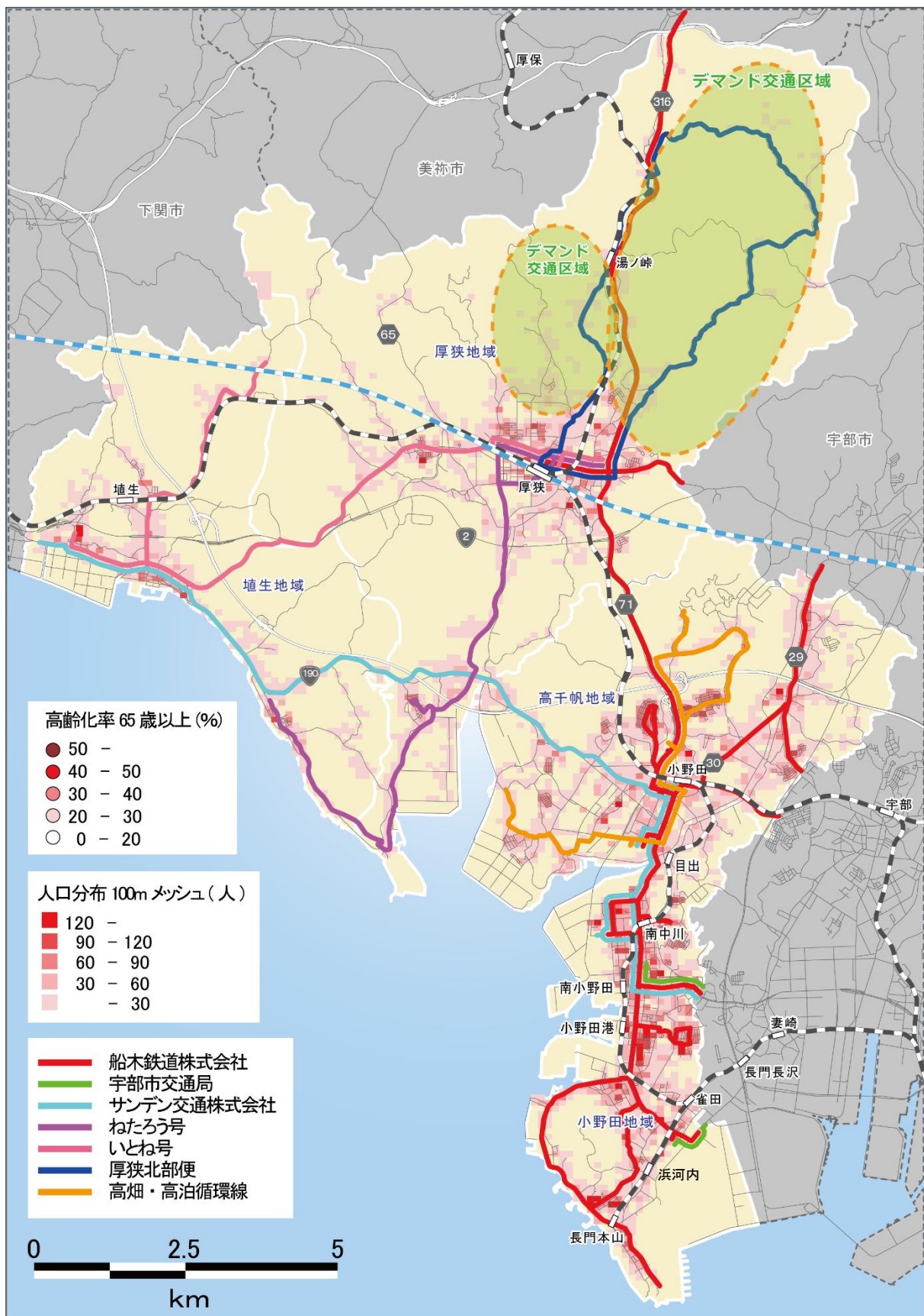


バス事業者3社による路線バスに加え、コミュニティバスが4つの路線を運行しています。

〇本市の人口集積及び高齢化率

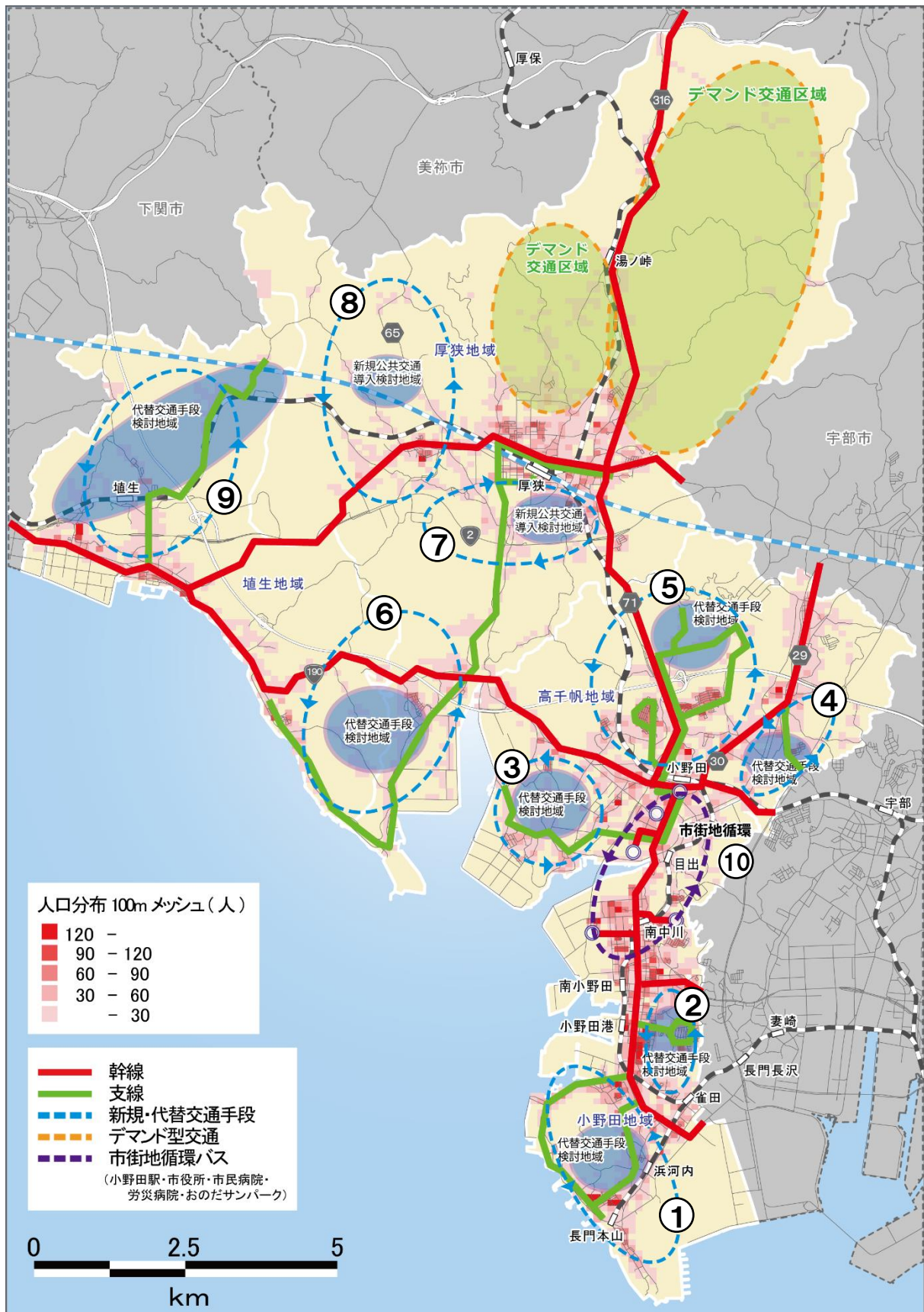


## 〇本市の人口集積とバス路線



市内のほぼ全域で、人口集積に沿ったバス路線が設定されていますが、一部、交通不便地域が存在しています。

## ○今後のバス路線再編方針



※再編を検討していくにあたって、方向性のイメージ図です。水色の円(点線)が、既存のバス路線又は他の交通手段導入の検討を要する地域です。円の大きさ等は、あくまで目安です。

## <再編にあたっての考え方>

幹線（資料1-4に赤色で示した路線）を活かしながら、支線（資料1-4に緑色で示した路線）に該当する部分について最適な交通手段を検討。

## <交通手段検討地域について>

### ①本山～赤崎地区

本山岬公園の手前がバスの待機所となっているため、本山岬バス停までは、運行本数が1日に約20往復となっています。しかし、乗客がいない状態で終点まで走る便も多く、運行の効率性及び収益率といった点で、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

### ②叶松地区

ひばりヶ丘から叶松団地間を運行しています。小野田駅やおのだサンパーク、市民病院、労災病院等が経由地となっているものの、便によっては乗車密度が極めて低く、運行の効率性及び収益率といった点で、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

### ③高泊地区

コミュニティバスである「高畑・高泊循環線」が運行しています。市民病院や小野田駅、スーパー等を経由地とし、高泊地区から高畑地区を循環する路線となっていますが、便によっては乗車密度が極めて低く、また、現在は停車場所になっていないスーパーへの停車要望もあります。運行の効率性や利用者ニーズとのアンマッチといった点も考慮し、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

### ④有帆地区

同地区内にはスーパーなどの商業施設がなく、一部の自治会については、隣接する宇部市に向かうバスはあるものの、市内（小野田駅方面）に向かう路線バスはありません。利用者ニーズを把握する中で、必要に応じて、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

### ⑤高畑地区

コミュニティバスである「高畑・高泊循環線」が運行しています。市民病院や小野田駅、スーパー等を経由地とし、高泊地区から高畑地区を循環する路線となっていますが、便によっては乗車密度が極めて低く、運行の効率性及び収益率といった点で、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

#### ⑥厚陽～津布田地区

コミュニティバスである「ねたろう号」が運行しています。津布田小学校前から厚狭駅を経由し、スーパー（丸久）近辺を終点としていますが、行先に小野田地区を望む声もあります。的確な利用者ニーズの把握に努め、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

#### ⑦厚狭南部地区、⑧出合地区

最寄りのバス停や駅まで1～3km離れた自治会が複数あり、交通不便地域となっています。住民から、移動手段の確保に関する相談も寄せられており、交通手段の導入について検討する必要があります。

#### ⑨福田～埴生地区

コミュニティバスである「いとね号」が運行しています。便によっては乗車密度が極めて低く、運行の効率性及び収益率といった点で、他の交通手段の導入を含めた見直しを検討する必要があります。

#### ⑩市街地循環バス

必要なスポットへ短時間で到着できることを目的とし、小野田駅、市役所、労災病院、おのだサンパーク、市民病院といった、利用者ニーズが高いと考えられる施設を対象に、循環バスの運行を検討します。

#### <再編に向けてのスケジュール案>

	H29	H30	H31	H32
ニーズ調査等		■		
調査結果の分析		■		
交通手段の検討		■		
実証運行の開始			■	■
交通事業者さんとの調整	■	■	■	■

※あくまで現段階での予定です。

## <路線バスとデマンド型乗合タクシーの特徴>

### ○路線バス

#### 【長所】

- ・大量輸送に長ける
- ・定時定路線であるため、通勤や通学など日々の用途に利用しやすい
- ・定期乗車券による運賃の割引率が大きい

#### 【短所】

- ・料金体系や行き先が分かりにくい
- ・利用者がいない場合も運行する必要があるため非効率

### ○デマンド型乗合タクシー

#### 【長所】

- ・ドア・ツー・ドア型の運行の場合、玄関前まで自動車が迎えにくる
- ・直接、目的地へ到着することができる
- ・運賃が定額で分かりやすい
- ・予約がなければ運行しないため効率的

#### 【短所】

- ・利用する際に予約が必要
- ・予約状況等により目的地までの到着時間や経路が変更するため、通勤や通学などには不向き